

大学院看護学研究科		授業科目	在宅ケアシステム論 Home-Based Health Care System			担当 教員	金川克子(専任) 都筑千景(専任) 成瀬和子(専任)	
開講年次	1年次前期	単位数	2 単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	講義と演習	
選択必修	選択	時間数	30 時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		在宅看護に関連する国内外の保健医療福祉の諸制度を理解するとともに、在宅ケアやケアマネジメントの実際を知り、在宅ケアシステムの今後のありかたを考える。						
授業のキーワード		介護保険、障害者自立支援法、地域包括支援センター、介護予防、ケアマネジメント、小規模多機能型施設						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
第1・2回	在宅ケアを取り巻く状況 —在宅ケアの発展経緯—			(金川)				
第3・4回	在宅ケアの枠組み、関連の諸制度			(成瀬)				
第5・6回	在宅ケアシステムの実際(1) —地域レベルの事例を通して—			(金川)				
第7・8回	在宅ケアシステムの実際(2) —諸外国の事例を通して—			(金川)				
第9・10回	在宅ケアシステムの実際(3) —おもに高齢者の事例を通して—			(金川)				
第11・12回	在宅ケアシステムの実際(4) —在宅ホスピスの事例を通して—			(成瀬)				
第13・14回	在宅ケアシステムの展望(1)			(金川)				
第15回	在宅ケアシステムの展望(2)			(成瀬)				
テキスト	な し							
参考文献	適宜紹介する							
成績評価の方法と基準	<p>以下の基準によって評価する。</p> <p>1.プレゼンテーション(40%) ; 文献選択及び引用の適正さ(15%)、作成資料のわかりやすさ、統合性(10%)、論点の言及・理解度(15%)</p> <p>2.ディスカッションなど講義への参加態度(30%) ; 積極性(10%)、論点の理解度(20%)</p> <p>3.課題レポート(30%) ; 文章の論理構成(5%)、文献使用の適切さ(10%)、論点の理解度(15%)</p>							
教員から学生へのメッセージ	個々の学生が抱えている在宅ケアシステムに関する課題を明示してもらい、また個々の在宅ケアへのかかわり等を通して講義を組み立てていきますので、積極的に取り組むことを期待します。							